

- ーニングにおける有用性. 令和元年度甲信越北陸口腔保健研究会第 30 回総会・学術大会, 三条市, 2019 年 7 月 27 日, 口腔衛生会誌, 70(1): 47, 2020.
- 16) 田村浩平, 葭原明弘, 諏訪間加奈, 角田聡子, 岩崎正則, 安細敏弘, 小川祐司: 小児期における唾液中 LDH と健康状態の関連について. 令和元年度甲信越北陸口腔保健研究会第 30 回総会・学術大会, 三条市, 2019 年 7 月 27 日, 口腔衛生会誌, 70(1): 47-48, 2020.
- 17) 埴岡 隆, 谷口奈央, 渡辺 猛, 島津 篤, 内藤麻利江, 高江洲 雄, 廣藤卓雄, 小島美樹, 小川祐司: WHO 推奨歯科簡易タバコ介入の日本版 e-learning の開発. 第 40 回九州口腔衛生学会総会, 鹿児島市, 2019 年 9 月 9 日, 口腔衛生会誌, 69(3): 151, 2019.
- 18) 埴岡 隆, 谷口奈央, 高江洲 雄, 小島美樹, 小川祐司: 歯科からの加熱式タバコ対応の「WHO 簡易タバコ介入法の日本の歯科医療への統合」への統合. 第 29 回日本禁煙医師歯科医師連盟総会・学術総会, 東京, 2020 年 2 月 16 日.

#### 【受賞】

- 1) 佐藤美寿々: 地域在住高齢者における現在歯数および義歯の使用状況・主観的評価とフレイルとの関連についての横断研究. 日本口腔衛生学会論文奨励賞

#### 【その他】

- 1) Ogawa H: ① Global epidemiology of oral diseases, WHO oral health survey basic method and WHO strategy for oral health, ② Lifelong oral health -a fundamental human right-, ③ Fluoride and oral health WHO policy and Niigata implementation as primary health. Gadjah Mada University Oral Health Summer Course, Gadjah Mada (Indonesia), 2019 年 8 月 19-21 日.
- 2) 金子 昇: むし歯予防、歯と口の健康のお手伝い. 令和元年度第 1 回口唇裂・口蓋裂 サポートミーティング, 新潟市, 2019 年 5 月 9 日.
- 3) 埴岡 隆, 小島美樹, 小川祐司ほか: ミニシンポジウム 歯科口腔保健のたばこ対策の推進を考える「WHO 簡易タバコ介入 (5As, 5Rs) の歯科臨床への統合」に準拠した elearning 展開ワークショップ. 第 68 回日本口腔衛生学会・総会, 大津市, 2019 年 5 月 22 日.
- 4) 小川祐司: 歯科口腔保健とたばこの関係 歯科からの禁煙支援. 新潟市歯科保健従事者研修会, 新潟市, 2019 年 7 月 29 日.
- 5) 小川祐司: WHO の動向(誌上報告). 深井保健科学研究所 18 回コロキウム, 東京, 2019 年 8 月 5 日.
- 6) 濃野 要: アクティブラーニング & 新カリキュラム 学ば Night -PBL 編-. 新潟大学歯学部 FD 講演会, 新潟市, 2019 年 9 月 18 日.
- 7) 小川祐司: 2030 年に向けてのグローバルオーラルヘルスプロモーション. 2019 年度 JAICOH 総会, 東京, 2019 年 11 月 9 日.
- 8) 小川祐司: これからの口腔保健を国際的に考える ～ 2030 年に向けての潮流～. 第 40 回暁星歯学会総会, 東京, 2019 年 11 月 10 日.
- 9) 小川祐司: 国際口腔保健で大切なことーミャンマーへの口腔保健支援ー. 九州歯科大学同窓会地区連合会, 新潟市, 2019 年 12 月 14 日.

#### う蝕学分野

##### 【著書】

- 1) 野杻由一郎他: マスト オブ エンドドンティック スシリーズ Must of Endodontic surgery(北村和夫編著), デンタルダイヤモンド社, 東京, 2019.
- 2) 野杻由一郎, 吉羽邦彦: 硬組織の加齢による変化. 保存修復学 第 7 版(千田彰 他編著), 11-13 頁, 医歯薬出版, 東京, 2019.
- 3) 竹中彰治著: 吉江弘正, 斎藤淳, 武井典子, 野杻由一郎, 埴岡隆, 米山武義編: 洗口液とその使い方ガイドブック, J&J 社, 東京, 2019.

##### 【論文】

- 1) Yoshiba N, Edanami N, Ohkura N, Maekawa T, Takahashi N, Tohma A, Izumi K, Maeda T, Hosoya A, Nakamura H, Tabeta K, Noiri Y, Yoshiba K: M2 phenotype macrophages colocalize with Schwann cells in human Dental Pulp. J Dent Res 99(3): 329-338, 2020.
- 2) Tohma A, Ohkura N, Yoshiba K, Takeuchi R, Yoshiba N, Edanami N, Shirakashi M, Ibn Belal RS, Ohshima H, Noiri Y: Glucose Transporter 2 and 4 Are Involved in Glucose Supply during Pulpal Wound Healing after Pulpotomy with Mineral Trioxide Aggregate in Rat Molars. J Endod 46(1): 81-88, 2020.
- 3) Takeuchi R, Ohkura N, Yoshiba K, Tohma A, Yoshiba N, Edanami N, Shirakashi M, Ibn Belal RS, Ohshima H, Noiri Y: Immunohistochemistry and gene expression of GLUT1, RUNX2 and MTOR in reparative dentinogenesis. Oral Dis 26(2): 341-349, 2020.
- 4) Hasegawa T, Takenaka S, Wakamatsu R, Ohsumi T, Doman H, Ohshima H, Terao Y, Noiri Y: A Horizontal Sequential Cutting Method to Estimate the Effectiveness of Dentin Disinfection by Using Confocal Laser Scanning Microscopy. J Endod 45(9): 1142-1147, 2019.
- 5) Hasegawa T, Takenaka S, Ohsumi T, Ida T, Ohshima H, Terao Y, Naksagoon T, Maeda T, Noiri Y: Effect of a novel glass ionomer cement containing fluoro-zinc-

silicate fillers on biofilm formation and dentin ion incorporation. Clin Oral Investig 24(2): 963-970, 2020.

- 6) Suzuki Y, Ohsumi T, Isono T, Nagata R, Hasegawa T, Takenaka S, Terao Y, Noiri Y. Effects of sub-minimum inhibitory concentration of chlorhexidine gluconate on development of *in vitro* multispecies biofilms. Biofouling 17: 1-13, 2020.
- 7) 竹中彰治, 長谷川泰輔, 小田真隆, 高橋直紀, 磯野俊仁, 大倉直人, 山本博文, 多部田康一, 野杻由一郎: 機能性糖脂質ビザンチンの *Streptococcus mutans* に対する抗バイオフィーム効果 -スクロース濃度の影響とバイオフィーム形成関連遺伝子の発現解析-. 日歯保存誌 63(1): 61-72, 2020.
- 8) 鈴木裕希, 大墨竜也, 永田量子, 長谷川泰輔, 竹中彰治, 野杻由一郎: Sub-MIC の CHG 存在下での *in vitro* 複合バイオフィーム中の *Streptococcus mutans* の局在と遺伝子転写に及ぼす影響. BACTERIAL ADHERENCE & BIOFILM, 32: 13-18, 2019.
- 9) 外園真規, 栗木菜々子, 朝日陽子, 町博之, 林美加子, 野杻由一郎, 恵比須繁之: 睡眠がデンタルバイオフィームに及ぼす影響. BACTERIAL ADHERENCE & BIOFILM, 32: 27-32, 2019.

#### 【研究費獲得】

- 1) 野杻由一郎 (研究代表者): 口腔ピロリ菌の闇に迫る一分離・同定法、感染機序、持続感染制御因子の探索的研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 19K22704, 2019.
- 2) 野杻由一郎 (研究代表者): 根面う蝕の新規病因論の創出と新病因論に基づくう蝕リスク診断法の開発. ACFF 日本支部の研究プロジェクト, 2018-2020.
- 3) 野杻由一郎 (研究分担者): 根面う蝕の発症に影響を及ぼす口腔バイオフィーム細菌叢の解明と新規予防法への応用. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)(研究代表者: 朝日陽子), 17K11703, 2017.
- 4) 野杻由一郎 (研究分担者): ヒトのデンタルバイオフィームの網羅的解析と新規コントロール法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B)(研究代表: 恵比須繁之), 17H04384G, 2017.
- 5) 野杻由一郎 (研究分担者): う蝕研究のための新規 *ex vivo* モデルの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)(研究代表: 前菌葉月), 19K10107, 2019.
- 6) 吉羽永子 (研究代表者): ヒト歯髄の創傷治癒過程における M2 マクロファージとシュワン細胞の相互作用の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10146, 2019.
- 7) 竹中彰治 (研究代表者): リスクアセスメントとオーラルリテラシーを向上する誤嚥性肺炎の危険予知システム開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 19H03958H, 2019.
- 8) 大倉直人(研究代表者): アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 19K10147, 2019.
- 9) 吉羽永子、大倉直人、枝並直樹 (研究分担者): 象牙質・歯髄複合体の創傷治癒・再生過程における幹細胞の誘導と分化機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 16H05516, 2019.
- 10) 大墨竜也: 抗生物質に頼らない口腔バイオフィーム制御戦略を用いた新規う蝕予防法の開発. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究, 19K19022, 2019.
- 11) 枝並直樹: リバスクラリゼーションにおける微小環境の解明: なぜ象牙芽細胞が分化しないのか. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 19K19020, 2019.
- 12) 遠間愛子: 2 型糖尿病ラットの歯髄創傷治癒におけるグルコース輸送担体 Glut4 の機能解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 19K18991, 2019.
- 13) 長谷川泰輔: 細菌付着を減弱させるジフテリア菌表面糖脂質誘導体を用いたバイオフィーム制御剤の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 19K24087, 2019.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 野杻由一郎: 『口腔バイオフィーム感染症のいまとゆくえ-根尖孔外バイオフィームと根面う蝕を中心に-』. 東京松風歯科クラブ, 東京, 2020 年 1 月 15 日.
- 2) 野杻由一郎: 『オーラルエイジングを科学し全身の健康を目指すーオーラルバイオフィーム制御の新戦略』. 第 19 回日本抗加齢医学会総会, 横浜, 2019 年 6 月 14 日.
- 3) 大倉直人: 『夢のむし歯治療～削らないむし歯治療の現状～』. 日本歯科保存学会 市民公開フォーラム, 新潟, 2019 年 9 月 14 日.

#### 【学会発表】

- 1) Naksagoon T, Ohsumi T, Takenaka S, Hasegawa T, Noiri Y: Anti-cariogenic Biofilm Effect of Zinc Glass-containing Glass Ionomer Cement After Long-term Water Immersion Using *In Vitro* MRD Flow Cell Study. The 1st General Meeting of ConsAsia 2019, the Asian-Oceanian Federation of Conservative Dentistry, Seoul, Korea,

- November 8-10, 2019.
- 2) Naksagoon T, Ohsumi T, Takenaka S, Hasegawa T, Suzuki Y, Nagata R, Noiri Y: Anti-cariogenic biofilm effect of zinc glass-containing glass ionomer cement after long-term water immersion using *in vitro* MRD flow cell study. International Collaborative Symposium on "Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment", Bali, Indonesia, February 10-12, 2020.
  - 3) 吉羽永子, 大倉直人, 前川知樹, 泉健次, 細矢明宏, 中村浩彰, 前田健康, 野杵由一郎, 吉羽邦彦: ヒト歯髄においてシュワン細胞はマクロファージを M2 型へ転換する. 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2019 年 10 月 12-14 日, プログラムおよび講演抄録集 61 回: 302 頁, 2019.
  - 4) 大倉直人, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 枝並直樹, 遠間愛子, 竹内亮祐, 白柏麻里, 野杵由一郎: ラット臼歯歯髄における創傷治癒時のグルタミン輸送の解析. 第 150 回日本歯科保存学会 2019 年度春季学術大会, 金沢, 2019 年 6 月 27-28 日, プログラムおよび講演抄録集 150 回: 40 頁, 2019.
  - 5) 大墨竜也, 竹中彰治, 野杵由一郎: 非穿孔型の広範な歯根内部吸収を認めた上顎右側中切歯の 1 症例. 第 151 回日本歯科保存学会 2019 年度秋季学術大会, 福岡, 2019 年 11 月 7-8 日, プログラムおよび講演抄録集 151 回: 60 頁, 2019.
  - 6) 枝並直樹, 白柏麻里, 吉羽邦彦, 大倉直人, 吉羽永子, 遠間愛子, 竹内亮祐, 野杵由一郎: なぜ Regenerative endodontic procedures は多様な治癒形態を生じさせるのか -ラット根未完成臼歯における免疫組織学的研究-. 第 151 回日本歯科保存学会 2019 年度秋季学術大会, 福岡, 2019 年 11 月 7-8 日, プログラムおよび講演抄録集 151 回: 54 頁, 2019.
  - 7) 遠間愛子, 大倉直人, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 枝並直樹, 白柏麻里, 竹内亮祐, 野杵由一郎: 糖尿病モデルラットを用いた修復象牙質形成時におけるマクロファージの挙動と細胞増殖の解析. 第 151 回日本歯科保存学会 2019 年度秋季学術大会, 福岡, 2019 年 11 月 7-8 日, プログラムおよび講演抄録集第 151 回: 109 頁, 2019.
  - 8) 長谷川泰輔, 竹中彰治, 小田真隆, 磯野俊仁, Naksagoon Traithawit, 永田量子, 鈴木裕希, 大墨竜也, 野杵由一郎: 抗バイオフィーム効果を有する結核菌細胞表層糖脂質誘導体ビザンチン(Viz-S)の初期定着菌群に対する付着減弱効果. 第 151 回日本歯科保存学会 2019 年度秋季学術大会, 福岡, 2019 年 11 月 7-8 日, プログラムおよび講演抄録集 151 回: 86 頁, 2019.
  - 9) 鈴木裕希, 大墨竜也, 磯野俊仁, Naksagoon Traithawit, 永田量子, 長谷川泰輔, 竹中彰治, 野杵由一郎: Sub-MIC のグルコン酸クロルヘキシジンが *in vitro* 複合バイオフィームに及ぼす影響. 第 33 回日本バイオフィーム学会学術集会, 久留米, 2019 年 7 月 5-6 日, 若手ワークショップポスター発表, 2019.
  - 10) 鈴木裕希, 大墨竜也, 長谷川泰輔, 竹中彰治, 野杵由一郎: Sub-MIC のグルコン酸クロルヘキシジンが *in vitro* 複合バイオフィーム形成に及ぼす影響. 第 52 回新潟歯学会 総会, 新潟, 2019 年 4 月 14 日, 新潟歯学会誌 49(1): 35 頁, 2019.
  - 11) 永田量子, 大墨竜也, 磯野俊仁, Naksagoon Traithawit, 鈴木裕希, 長谷川泰輔, 竹中彰治, 野杵由一郎: Nested PCR アッセイを用いた口腔内 *Helicobacter pylori* の検出. 第 151 回日本歯科保存学会 2019 年度秋季学術大会, 福岡, 2019 年 11 月 7-8 日, プログラムおよび講演抄録集 151 回: 46 頁, 2019.
  - 12) Shakehin Nazmus, 細矢明宏, 建部廣明, 溝口利英, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 中村浩彰, Hasan Md Riasat, 入江一元: Differentiation ability of Gli1-positive mesenchymal cells in the periodontal ligament. 第 125 回日本解剖学会, 宇部, 2020 年 3 月 25-27 日.
  - 13) 長谷川達也, 半田慶介, 八幡祥生, 田中利典, 中野将人, 野杵由一郎, 斎藤正寛: 根尖性歯周炎の病因・病態に基づいた新規治療戦略の開発. 第 151 回日本歯科保存学会 2019 年度秋季学術大会, 福岡, 2019 年 11 月 7-8 日, プログラムおよび講演抄録集 151 回: 55 頁, 2019.
  - 14) Shakehin Nazmus, 細矢明宏, 建部廣明, 溝口利英, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 中村浩彰, Hasan Md Riasat, 入江一元: Gli1 陽性歯根膜細胞は幹細胞特性を有し, 歯槽骨再生に寄与する. 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2019 年 10 月 12-14 日, プログラムおよび講演抄録集 61 回: 123 頁, 2019.
  - 15) 外園真規, 栗木菜々子, 朝日陽子, 町博之, 林美加子, 野杵由一郎, 恵比須繁之: 睡眠による口腔細菌叢の変化. 第 33 回日本バイオフィーム学会学術集会, 久留米, 2019 年 7 月 5-6 日.
  - 16) 前園葉月, クランリアン キッティピット, 外園真規, 朝日陽子, 山口幹代, 栗木菜々子, 野杵由一郎, 林美加子: 口腔サンプルを用いて作製したバイオフィームの実験モデルの差に関する検討. 第 150 回日本歯科保存学会 2019 年度春季学術大会, 金沢, 2019 年 6 月 27-28 日, プログラムおよび講演抄録集 150 回: 25 頁, 2019.
- 【受賞】
- 1) Traithawit Naksagoon: Anti-cariogenic Biofilm Effect of

Zinc Glass-containing Glass Ionomer Cement After Long-term Water Immersion Using *In Vitro* MRD Flow Cell Study. The 1st General Meeting of ConsAsia 2019, the Asian-Oceania Federation of Conservative Dentistry, Excellent poster presentation award, November 10, 2019.

- 2) 大墨竜也: 非穿孔型の広範な歯根内部吸収を認めた上顎右側中切歯の1症例. 第151回日本歯科保存学会, 専門医優秀症例発表賞, 2019年11月8日.
- 3) 鈴木裕希: Sub-MICのグルコン酸クロルヘキシジンが*in vitro*複合バイオフィルムに及ぼす影響. 第33回日本バイオフィルム学会学術集会, 第4回若手ワークショップ優秀発表賞, 2019年7月6日.
- 4) 長谷川泰輔: 口腔細菌叢を変動させない新しいバイオフィルム制御剤の開発. 第52回新潟歯学会総会, 2018年度新潟歯学会学術賞奨励賞, 2019年4月13日.

#### 【その他】

- 1) 遠間愛子: グルコーストランスポーター2および4はラット臼歯のMineral Trioxide Aggregateによる断髄後の歯髄創傷治癒過程においてグルコース供給に関与する. 新潟歯学会雑誌 49(2): 15, 2019.
- 2) 長谷川泰輔: 硫酸化体ビザンチンは*Streptococcus*属の付着関連遺伝子群の発現を低下させることでバイオフィルム構造を剥離する. 新潟歯学会誌 49(1): 31, 2019.
- 3) 野杵由一郎: むし歯とむし歯治療の行方. 市民公開フォーラム開催, 新潟, 2019年9月14日.

### 小児歯科学分野

#### 【論文】

- 1) Inada E, Saitoh I, Kubota N, Iwase Y, Murakami T, Sawami T, Yamasaki Y, Sato M: Increased Expression of Cell Surface SSEA-1 is Closely Associated with Naïve-Like Conversion from Human Deciduous Teeth Dental Pulp Cells-Derived iPS Cells. *Int J Mol Sci.* 20(7). pii: E1651, 2019.
- 2) Sato M, Saitoh I, Inada E, Nakamura S, Watanabe S: Potential for Isolation of Immortalized Hepatocyte Cell Lines by Liver-Directed *In Vivo* Gene Delivery of Transposons in Mice (Review). *Stem Cells Int.* 2019: 5129526, doi: 10.1155/2019/5129526, 2019.
- 3) Kuwae K, Miyagi-Shiohira C, Hamada E, Tamaki Y, Nishime K, Sakai M, Yonaha T, Makishi E, Saitoh I, Watanabe M, and Noguchi H: Excellent Islet Yields after 18-h Porcine Pancreas Preservation by Ductal Injection,

Pancreas Preservation with MK Solution, Bottle Purification, and Islet Purification using Iodixanol with UW Solution and Iodixanol with MK Solution. *J Clin Med* 8 (10): 1561, 2019.

- 4) Inada E, Saitoh I, Kaihara Y, Murakami D, Nogami Y, Kubota N, Shirazawa Y, Ishitani N, Oku T, and Yamasaki Y: Incompetent lip seal affects the form of facial soft tissue in preschool children. *Cranio* 30:1-7, 2019.
- 5) Nakashima Y, Nahar S, Miyagi-Shiohira C, Kinjo T, Kobayashi N, Kitamura S, Saitoh I, Watanabe M, Fujita J, and Noguchi H: Identification of Proteins Differentially Expressed by Adipose-derived Mesenchymal Stem Cells Isolated from Immunodeficient Mice. *Int J Mol Sci.* 20 (11): pii: E2672, 2019.
- 6) Sato M, Inada E, Saitoh I, Nakamura S, and Watanabe S: *In Vivo* Piggybac-Based Gene Delivery towards Murine Pancreatic Parenchyma Confers Sustained Expression of Gene of Interest. *Int J Mol Sci.* 20 (13): pii: E3116, 2019.
- 7) Inada E, Saitoh I, Kubota N, Iwase Y, Kiyokawa Y, Shibasaki S, Noguchi H, Yamasaki Y, and Sato M: piggyBac Transposon-Based Immortalization of Human Deciduous Tooth Dental Pulp Cells with Multipotency and Non-Tumorigenic Potential. *Int J Mol Sci* 20 (19): pii:4904, 2019.
- 8) Hoshikawa E, Sato T, Kimori Y, Suzuki A, Haga K, Kato H, Tabeta K, Nanba D, Izumi K: Noninvasive measurement of cell/colony motion using image analysis methods to evaluate the proliferative capacity of oral keratinocytes as a tool for quality control in regenerative medicine. *J Tissue Eng.* 10:2041731419881528, 2019.
- 9) Nakamura Y, Nakajima T, Sasakawa Y, Tsukuno S, Sakurai R, Kurosawa M, Iwase Y, Saitoh I, Hori K, Hayashi T, Hayasaki H: Influence of food adhesivity and quantity in lip closing pressure. *Physiol Behav* 214: 112743, 2019.
- 10) Iwase Y, Saitoh I, Okamoto A, Kurosawa M, Nakamura Y, Inada E, Iwasaki T, Yamasaki Y, Hayasaki H: Comparison of dynamic occlusal contacts during chewing between children with primary dentition and normal adult females. *Pediatric Dental Journal* 29(3): 116-22, 2019.
- 11) Sato M, Inada E, Saitoh I, Watanabe S, Nakamura S: piggyBac-Based Non-Viral *In Vivo* Gene Delivery Useful for Production of Genetically Modified Animals and Organs (Review). *Pharmaceutics.* 2(3) pii: E277, 2020.
- 12) Soda M, Saito K, Ida-Yonemochi H, Nakakura-Ohshima K, Kenmotsu S, Ohshima H: Reduced enamel